

高浜まちづくりニュース vol.1

まちづくりはコミュニティづくり

高浜町には海岸や青葉山をはじめ、美しい自然の風景が見られます。その自然を大切に守り、生活に上手く取り入れながら、独自の生活文化や歴史・伝統を築き、地域活力を育ててきました。その中でも大切に培ってきたのが、人と人とのつながりです。時代の変化と共につながり方も変わってきたかもしれませんが、挨拶を交わり相手を想い合えるコミュニティこそが“まち”を育てていきます。

4つの個性ある地域をつなぐ

高浜町の4つの地域には、それぞれの良さが残り、顔と顔の見える歩いて暮らせる距離感のコミュニティづくりが広がっています。それぞれの地域が快適な道路網と使いやすい公共交通でつながり、選ばれるまち高浜町をつくります。

内浦

和田

高浜

青郷

高浜コンパクトシティ構想から考える まちなか暮らしのススメ

なぜ、まちなかでの暮らしをおすすめするのか？

昔から商店も多く栄えていたまちなか。今は空き家・空き店舗が目立つけど、やっぱり病院も近く、スーパーにも歩いて行けととても便利。もちろん住んでいなくても、病院や買い物へ来たついでにお散歩しておしゃべりして集えるまちなかかって素敵だと思いませんか？

今日は食育クラブで
おばあちゃんから料理を
教えてもらえるわ！

お店の前での立ち話も
楽しいひととき。

孫との散歩が
ホント楽しみ！

丹後街道保存会で
町を活気づけよう！

一人暮らしだけど、
“いざ”というときは声を
かけてもらえて安心。

竹垣は風情が
あるなあ。

みんなで育てた
花の苗で花壇づくり。

今日も公民館へ
みんなの顔を見に
行こうかね。

病院も役場も
スーパーも近くで
便利になった！

家から病院まで
乗り合い型バスでの
移動は安くて便利。

あなたはどんな“まちなか暮らし”を描きますか？



協働のまちづくり

古いものを活かす 歴史をつなぐ

丹後街道と呼ばれる、立石から若宮、中町・本町商店街を抜けて金米橋を渡り、佐伎治神社の参道を通り横町・菌部へ向かう道には、伝統的なまちなみが残っています。県の伝統民家に登録されている家も数多く、町内の 37 件中 21 件が高浜地区の丹後街道沿いにあります。そんな丹後街道沿いで、人と人・人と文化がつながり、豊かに暮らしていくために活動されている方々を紹介します。

高浜のまちなみには こんな歴史が隠れている!!

高浜文化財保護審議会の会長、^{たちただし}館太正さんは自宅を資料館として開放したり、高浜の子どもたちに歴史探検の案内をされたりと、高浜の伝統や文化の良さを伝説や歴史を交えながら伝える活動をされています。「自宅の蔵にたくさんの古いものが残っていて文化財に興味を持った。高浜の子どもたちにも町に残る歴史から文化財や町に興味を持ってもらいたい」と話す館太さんの案内する高浜を巡ってみましょう。



ここから歴史は始まった!

高浜城を築いた武将の眠る墓

今の城山公園に城を構えた武将 ^{へんみするがのかみまさつね}逸見駿河守昌経は、近隣に鳴り響く勇ましさと共に、住民の心をつかむことにも大変すぐれていたことで有名でした。昌経の墓は ^{えんしょうじ}園松寺に奉られています。



泥棒もお手上げ 金米橋

^{さいふくじ}西福寺から仏像を盗んだ泥棒がこの橋に足を踏み入れた途端に、仏像が重くなり橋を渡ることができなかったという話があります。七年祭でも「中ノ山」と「東山」の神輿の境になっており、橋を越えることは許されません。



今も残る高浜のまちなみ

塩土・事代の路地

漁師町特有の狭い路地。家の前に駐車ができないという難点はあっても、ちらちらと隙間から見える海は高浜ならではの楽しみのひとつ。「気圧計」や「お地藏さん」も見られます。



なまこ壁倉

壁に瓦をうちつけ、目地に漆喰をかまぼこ型に盛り付け、なまめ格子などの模様を造ります。どこにあるか探してみてね!



モダンな洋館 旧山口医院

昭和 8 年に建築されたモダンな建物で、少し丸みを帯びた「エンタシス」という工法の玄関の柱と擬洋風建築が特徴です。夜遅くまで診てくれる地域のかかりつけの医院として、子どもからお年寄りまでたくさんの住民がお世話になりました。



春の訪れをまちなかで想う 若狭高浜ひなまつり



若狭たかはまひなまつりの会

(左から) ほんじょうようこ 本庄洋子さん、
はませしゅうぞう 濱瀬昇三さん (代表)、
はませりつこ 濱瀬律子さん

展示したい方・
ひな人形募集中!



「地域の活性化になれば…」との思いから平成17年(2005年)に始まった「若狭たかはまひなまつり」ですが、今では本町区を中心に、立石区から菌部区、道の駅シーサイド高浜に至るまで、賛同者の方がおひなさまを飾り、地域を盛り上げる一大イベントになっています。

この「若狭たかはまひなまつりの会」は小さいことでも楽しく続けていくことが大事という想いのもと、賛同者のみなさんとコミュニティ活動をつなげ、広げ、続けてこられた手作りの団体です。

当初16軒からスタートしたひなまつりが、人や地域とのつながりをくり返し、今では90軒まで広がったことで、主催者はもちろん、地域のみなさん、ご近所から遠方から足を運んでくださるお客さんにも喜ばれています。「みんなが地域、町を活性化させたいという同じ想いをもってひな人形を展示してくださるので、その想いに後押しされているから続けられる」と代表の濱瀬さんはおっしゃいます。

ただ頭を悩ませていることが2つあるそうです。1つ目は、第8回を迎え若干マンネリ化して来たこと。そこで、今回はマンネリ化しないように、ひなまつり以外の展示をまちなかで計画されています。そして2つ目は、うれしい悲鳴ですが、大きく広がったひなまつりの会場を見て回ることが大変になったこと。ひなまつりだけでなく、高浜のまちなみも楽しみながら散策していただける自転車での回遊がおすすめです。

最後に、『「若狭たかはまひなまつりの会」だけでは、年間を通じた賑わいづくりをすることは難しい。だから、色んな団体が四季を通じて催しをまちなかで開催する町になったら…、高浜地区が、節分のイベントから始まり、ひなまつり、端午の節句、七夕、十五夜へと続く四季を通じたイベントがまちなかを結んで、活気溢れる町になったらといいなあ…』と、高浜のにぎわいの未来像をおっしゃっていました。

2012年
開催日程

「若狭たかはまひなまつり」

2月15日(水)から
3月3日(土)まで

※会場のチラシは
2月中旬に配布予定

平日はオンデマンドバスでひなまつりを見に行こう!

オンデマンドバス(乗り合い型バス)はすでに利用されましたか?
買い物のついでに足をのばしてひなまつりを見に行ってみませんか?
若狭たかはまひなまつり会場へは「サニーマートたかだ店」「常田書店」「常藤内科医院」「高浜町役場」「高浜保育所」で乗り降りすることができます。
※利用には事前登録と予約が必要です。利用時間は平日7:30~17:30
○バスの登録・お問合わせは、まちづくり課(72-7705)



なるほど! 町外の参考例

コミュニティガーデン in 長野県小布施町



- 小布施では「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という町民共有の考え方があります。これは小布施の通りや路地、個人の庭先までもが街並みの一つとして考えられており、自由に散策することができます。
- 路地と庭が繋がっており、訪れる人の気持ちを癒してくれます。家によっては門すら無い庭もあって、小布施町のコミュニティガーデンには町の人々の「訪れる人」に対する「おもてなし」の心を感じることができます。
- そのためか小布施町を表現するお客さんの言葉には「懐かしい」「ホッとする」「癒される」などの声がよく聞かれるそうです。

海辺の暮らしから“継”つなぐ

病院や公共施設が集約され、アクセスしやすいまち。
 買い物客が井戸端会議をして、賑わいがたえないまち。
 自然や歴史的風土を活かした、歩いて暮らせるまち。
 地域で子どもを見守り、安全安心なまち。
 引き継がれてきた暮らしを、次の世代につなぐ。
 私たちの世代なりの工夫を加えて。



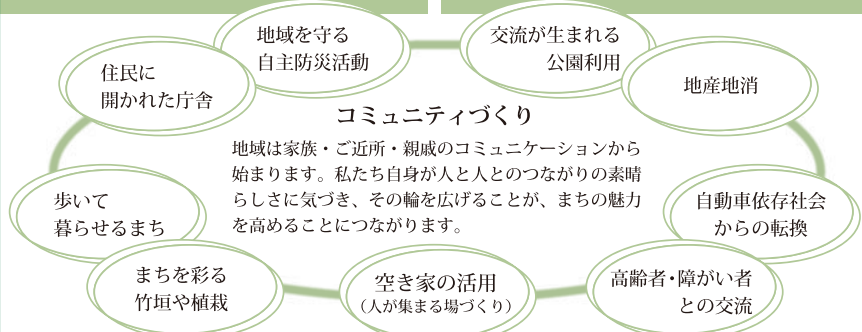
高浜コンパクトシティ構想

安全・快適なまちづくり

歩行者・自転車重視の歩道整備、さまざまな災害を想定した防災・減災に対応した道路整備を進めます。また問題となっている高浜駅付近の浸水被害の対策、防災拠点となる新庁舎の建設に取組みます。

産業づくり

若者のパワーと高齢者の経験やノウハウを活かせる場づくりを進めます。城山公園の景観を活かした城山エリアの再構築を行い、観光産業を盛り上げます。また漁港エリアの再整備を行い、高浜産海産物のブランド化と担い手育成につなげます。



エコ

無理なく自然に始められる一人ひとりのエコ活動が、暮らしに浸透することで、持続可能な社会を創ります。また自然の恵みを活かし、竹垣や植栽でまちを彩ります。

景観・魅力創出

丹後街道沿いの伝統的民家が連なるまちなみと漁村文化が織り成す路地を保全・活用する地域づくりを進めます。

医療・福祉

高齢者福祉や障がい者福祉の充実を図る拠点を設け、慣れた地元でいきいきと安心して暮らせる生活を支援します。機能を集約させ、公共交通で地域をつなぎます。

<発行> 高浜町 建設整備課 コンパクトシティ推進室 TEL:0770-72-7702 E-mail:kensetu@town.takahama.fukui.jp



もうすぐお正月ですね。コンパクトシティ推進室が新たにでき、9ヶ月が経とうとしています。当室では、皆さんと一緒に高浜の未来に合ったまちづくりを進めていきたいと思っています。これからも“高浜まちづくりニュース”でまちの動きをお知らせしますので、ぜひご意見をお寄せください。